

布哇ヘ社員特派
移民拒絕事件の真相観察の爲め今回我時事新報社は社員西師意氏を軍艦浪速に便乗せしめて布哇國に特派したり談判の模様は勿論、同國の事情は最も迅速なる方法を以て報道す可し

布咲へ社員特派 劇事件の真相観察の爲め今回我 恵氏を軍艦浪速に便乗せしめて 刊の模様は勿論、同國の事情は 報道す可し

とは數年來世間の流行論にして時としては俳優の中に之を冀する者ありて其趣意を聞けば從前の芝居を改良して上流社會の見物にも適するやう都ての風致を次第に高尚にする考なりと云ふ至極の思付なれども今之實際を見れば唯あれを口に言ふのみにして改良の實は少しも見る可らず例へば目下東京の歌舞伎座に興行中の春雨傘と稱する芝居を觀るに市川國十郎が得意の旅客江戸、子を演ずる所にて其藝は兎も角も全體の趣向は俗に云ふ惡所場なる吉原を離れず此幕も次ぎの幕も殆んど女郎屋ばかりの仕込みにて國十郎は個の遊冶郎のみ舞臺にねいらん出で新造秀女付添ひやりての妻若者の周旋より座敷部屋の什器飾付等に至るまで賑わにして華やかなりと云へば夫れ遠れども其實は人間社會の醜體を公衆に披露して憚からざるものなり抑も遊廓は人間の秘密賣姪の巢窟にして西洋の語に此事をプロスチチューート(prostitute)と稱し凡そ人として身を重んじ耻を知る者は之を口外するも苦々しき次第にして言はず聞かず唯ふれを知て知らざるに附するのみ是れぞ人間社會の優美を維持する所以なるに今日殊更に之を芝居の舞臺に演じ數十日間數萬の人には披露して年齢も若き滿州の子女にプロスチチューートの盛況を目撃せしむるとは驚入るの外なし或は此狂言の眞面目は俠客が弱きを助け強きを挫くの義侠を示すに在りと云はんか自から其邊の意味も見る可しなれども全體の風光は満目唯惡所場の寫眞にして苟も口外す可らざる事のみなるを如何せん論より證據は假りに今度の芝居に外國上流の紳士若くは内國人にとって眞實の良家と名くる家の少年少女を招待して拟その見物中紳士子女は生來曾て吉原なきの事を知ざれば毎幕に出現するれいらん新造等を見て彼は本來何者にして何事を爲すや今の此の男子彼の男子が夫れ是と談論し時として大聲絶叫する其意味は何事を何と問答する者なるや云々と事濃に質問せられたらば主人は果して能く説明し得る否や亦面流汗一句も辭なきに窮するとならん要するに此種の狂言は唯是れ人間醜體の披露にして苟も上流に位する士人子女の觀る可きものに非ず小にしては演劇社會の耻辱、大にしては帝都の不禮義なれ共世間に之を怪しむ者なく尙ほ之を見物して平氣なるは何ぞや自から其由來なきに非ず上流社會にては年來演劇の改良を唱道したれども當局俳優輩の無學無識その盛のまづく上達して錢を得るみとすく多きに從ひますく品行を變るに非されば高慢自慢すべく人事を忘れて傍より手の着けやうもなく改良談を到底實際に行はれざるを悟りて是に於てか暫く之を中止し今は芝居を一種人間外の事と爲し役者をも人間外の者と視做し初めより其事柄の醜美如何を問はずして唯その藝の巧なるを見物し其四肢の運動、臺詞の音調等都て人意

に通するを悦ぶのみ物と輕く見れば猿の芝居、山車、馬鹿の藝も面白し况んや人が人の眞似をして眞に迫るに於てそやは即ち芝居見物の今に繁昌す所なり左れば今一度春雨傘の狂言も其むかし吉原の醜界に毎度見所の出來事を河原者と稱する役者共が芝居に仕組みて所謂江戸ゝ子の氣象を演じ見物の人氣に投じて兼て吉原の景氣を助け吉原も芝居も共に繁昌して之を江戸の花と叫びたり其花を今の園十郎が歌舞伎座に再演するものなりとすれば深く咎るに足らず役者相應の渡世法なれども日本一なぞ稱する大芝居にして其不倫斯の如くなれば他は推して知るべし畢竟俳優社會に學者は勿論人並の人物もなきが爲めにして演劇改良の如き先づ以て終東なしと知る可し

臺灣の軍政民政と 區別す可し

本日八日は馬關條約に定めたる臺灣の住民に去就を決せしむるの期日にして此期日に至りて島地を去らざる住民は日本の臣民と見做すとなる可し即ち八日以後は臺灣の島民も眞實我政府の治下に服従する次第なれども實際の有様を見れば島民の去就は姑く擋さ土匪の一類は依然横行して狂暴を逞うし良民を苦しめ守備兵に抵抗するなぞ所在の人心尙ほ洶々たるが如し尤も彼の土匪なるものは一種の兇賊にして隱現出沒、剽掠を事どし支那政府の時にも常に其始末に苦しめたるよしにて敢て今回に始まりたるに非ず其狂暴横行は強ち統御法の失策に歸す可らずと雖も兎に角に施政の未だ行届かざるを見る可し抑も島地の割譲以來既に滿二年に達したり前一年の間は殆んど戰鬪鉅歟の爲めに費して今尙ほ百事匱々とは云ひ乍ら青天白日盜賊の横行さへも禁する能はずとは何事ぞや此一事より推測するも一般施設の有様も大凡そ思ひ遣らるゝ次第なり新領地の統御もとより困難に相違なしと雖も其困難は最初より豫期したる所にして今更ら驚くに足らず兎に角に着手以來の成績として多少は見る可きものある筈なるに我輩の耳にする所は只官吏の苦惱と土匪の騒動沙汰のみにして是が新政の新面目なりとて注目すべきものを見ず聞く所に據れば總督府の執務は恰も法律づくめにして甚だ精密なるは善けれ共其手續の繁雜なるよりして事務は容易に渉取らず舊類は山の如くに堆積して一日又一日次第に溢滿するのみ例へば官吏の月給を渡すに下級の輩などに至りては其月のものを其月に請取るとさへ六かしく或は一二箇月も延引して其間は止むを得ず他借して生活費を辨する者多じ渡す可き金なきに非ず其金はありながら手續の面倒なるが爲めに然るものなりと云ふ以て其一斑を知る可し斯の如き始末にして新附難治の島民に曉み以て成功を期せんとする事の見る可きものなきも怪しうに足らざるなり政府は今回島地に新縣を増置して施政の便を謀り又民政局の如きも大に改革を加ふ可しと云ふ其増置改革之れも可なれども我輩の所見を以てすれば新領地の統制經營は一に當局者の手腕に存するものにして其人物を得るるを第一の必要にみそあれば今之總督府の組織を一變して廣く人物を得るの道を開くと急要なりと信ずるものなり現在の官制に據れば總督は海陸軍の大將もしくは中將

に限るの定めなれども期する大任と託す可き人物を單に軍人に限るとは窮屈至極なりと云ふべし新領地の經營は單に軍事のみならず殖産興業教育警察衛生土木等その事は多々にして何れも永久の利害に關して然かも精密周到の考を要す可きものなるに本來その邊の事には不向なる軍人を總督として局に當らしめ總督は其部下なる民政局員に一任する如き次第にては到底目的を達す可らず蓋し總督の地位を軍人に限りたるは領地の防備に重きを置きたるが爲める可し防備の事、固より大切なりと雖も一般の經營は更らに大切なこと況んや軍事上の事は軍務局なるものあれば其局長に権限を委任して事に當らしむるも差支はなかる可し總督必ずしも軍人に限るの理由とてはわらざれば現在の組織を一變し民政と軍政とを判然區別して總督の任は其身分に拘はらず廣く適當の人物を求めて當らしむるふと肝要なるべし我輩は今の軍人中に人なきを云はず又現任者に就て云々するものに非ず只鷗地經營の大體上よりして軍民の區別を主張するのみ

いて更に精査中なる由其出草金ヒ未だ詳しく知る
得ざれども之を要するに條約實施の期も近づき居りて
内地難居の曉に至り本邦人の取締にさへ十分ならざ
る今の大儀の警視廳にては到底外人の保護にまで手を擴
ひる能はず其時に際して内外人の安心を缺く如きとあ
りては遺憾なりとの主意より割出したる改革にて改革
と云はんより寧ろ大擴張と稱す可きものならんと云ふ

慶應義塾同窓會
豫て記したる如く慶應義塾の同窓會は去る一日午後三
時より枕橋院の八百松に於て開會せり當日は近來に稀
なる好天氣にして堀堤の遙櫻未だ全く謝し去らず春を
名残の鳥の聲へ長閑なりしかば參會の人数も豫定よ
りは増加して三時の刻には樓上既に人を以て填む許
りの人員と爲り宴會を開くまでの前興として圓遊連中
の落語、林中の常盤津、藤間の手踊等あり夫より幹事の
周旋にて座を改めて宴席に入り席定まるや一同杯を舉
げて福澤先生及び慶應義塾の萬歳を唱へたる後、打覽
さて盃を回らし舊を談じ老少一堂の音生何等と變化
したれば快談刻を移すに從ひ興益々加はり十二分の歡
を盡して散會したるは午後九時過ぐる頃なりし又當日
は三重縣某名に於ても同時刻に於て静岡、愛知、岐阜、
三重四縣の同窓會を開き塾長小幡氏も其席に臨みた
れば其席上より同窓幹事の名にて祝電を送り来る等其
他二三の地方より當日の盛會を祝して電報を寄せたる
ものあり今來會者の姓名を記せば左の如し